

研修名 保育士研修D「まなび」

平成 31 年 1 月 28 日(月)10:00～12:30

研究発表と質疑応答

発表① 「『食を営む力』の基礎を培う食育の推進」

発表② 「公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割」

指導助言 桜花学園大学 小嶋 玲子 氏

- 1) ① 「『食を営む力』の基礎を培う食育の推進」
～評価から見えてきた本園の食育～

1 講演要旨

資料の中にもあったように、「食育のやりっぱなしを防ぐ・・・」が今回の研修の要旨だと私自身は感じた。小嶋先生の指導助言のなかでもあったように、食の提供におけるチェックリストなどで評価し、振り返りや見直すことは各園においても実践されている園が多く自園も含まれる。しかし、その Plan(計画) Do(実行) Check(評価) で終わってしまうことが多く、Action(改善) については、その年の体制等が理由にあがり、なかなか具体的な次の Plan(計画) につながりにくい。

～評価から見えてきた本園の食育～と題してあるが、食育目標に基づいての評価ではなく、どの程度の取組みだったのか・・・という取組んだことについての評価になってしまい、本来の目的のねらいを捉えなおせるものとなった。

2 感想

発表内容については、自園も同じような取組み方(食事提供ガイドラインのチェックリストを用いたもの)をしていたので、今回の発表から小嶋先生の指導助言を聞き Plan(計画) Do(実行) Check(評価) Action(改善) の具体化できるようにしたい。今年度も同じような振り返り(食事提供ガイドラインのチェックリストを用いて)と考えていたので、方法=やりっ放しにならない方法を考え実践したいと考える。

2) ②「公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割」

1 講演要旨

市をあげての保育の質の向上。

公立・私立、また宗教的な要素など、同じ市内でも各園において保育目標や内容は様々。その中で、舞鶴市は乳幼児教育コーディネーターを中心に、同じ目的をもって集まれる機会があること。それを「公開保育」という形で実践されているということを今回、知ることが出来たことがおおきな学びだった。

2 感想

取組み方やこの取組みにいたった経緯などは資料に上がっていたが、主に公開保育に向けての取組み方や気づき、学び、保育の変化だったので、テーマである「公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割」といった部分で変化が見られている部分を知りたいと感じた。(例えば、保小連携の取組みなどで成果があげられている等) 公開保育という1つの手法を通して、「見せるためではなく、実践者・参加者双方の学びにつながっていく」という目的に対する共通理解が素晴らしいと感じた。

(記録 城陽市立久津川保育園 竹内久美子)

